

## トルコ為替週報

2022年1月11日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去3週間の動き〉 (12月21日～1月10日)

USD/TRY: 10.2500～14.3885

TRY/JPY: 8.07～11.10 (参照値)

過去3週間のトルコ・リラ相場は、右掲チャートの通り示す通り乱高下。20日につけた史上最安値(18.4000)から23日の戻り高値(10.2500)までの値幅は実に+80%弱に及んだ(対ドル)。24日以降の値動きは小動きに見えるかも知れないが、24日終値から10日安値(13.9430)までの下げ幅も20%弱あった。リラ急反発の要因を、20日の現地時間夜、エルドアン大統領が発表した為替差損補填リラ預金に求めることはできた。同じく、リラ反落の要因も、24日、当該預金が補填する差損に政策金利+300b.p.相当までという上限が設定された事実を求めることができた。31日に発表されたトルコ11月貿易収支が小幅ながら予想を上回る赤字を計上したこと、3日発表されたトルコ12月CPIが予想を明確に上振れ、2002年9月来(エルドアン政権誕生後の最高)の水準に達したことも、敢えてリラ売り要因と読むことはできなかった。逆に、3日、トルコ中銀が新たなリラ安抑止策として、輸出企業に対し、外貨売り上げ(revenue)の25%をリラに転換することを義務付けると発表したのは、同日のリラ上昇を促した可能性も考えられた。ただし、現在までに同策の詳細は明らかになっていない。

〈過去3週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/24	8:00	外国人観光客(前年比)	11月	+111.5%		+99.3%
12/27	7:00	設備稼働率	12月	78.7%		78.1%
12/31	7:00	貿易収支(USD)	11月	-5.40bn	-5.30bn	-1.50bnr
1/3	7:00	CPI(前年比)	12月	+36.08%	+27.36%	+21.31%
1/10	7:00	失業率	11月	11.2%		11.2%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(1月11日～1月17日)

USD/TRY: 13.600～14.500

TRY/JPY: 7.95～8.45

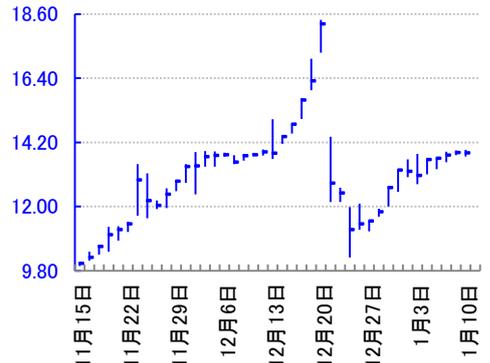
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、足元リラ安基調の継続を予想。この間起きた中でトルコの投資環境にとっておそらく最悪の出来事は、上述為替差損補填リラ預金に対し懐疑的な発言をした26人(注1)を、トルコ銀行局(BDDK)が起訴したことと考える(27日)。ネバティ財務相などは、国民に対し「リラ安を予想する人たちを訴えよう」とまで呼び掛けていた(29日)。同財務相によると、外貨預金から為替差損補填リラ預金への借り換えは、28日の時点で380億リラ、5日の時点で915億リラに上ったという。同国内の外貨預金総額(2,300億ドル前後)と比較すれば僅かな額かもしれないが、流動性の落ちた今のリラ為替相場では無視できない額。ただ、いくつか腑に落ちない点はある。当該預金の詳細が発表されたのは21日の現地時間昼のことだったが、現地時間の20日夜のリラ暴騰が、外貨預金からの借り換えによるものだったとしたら、トルコ国民は、夜の間、その詳細も定かでない同預金に飛びついたということになる。また、同預金の金利上限は現状17%だが、同国は直近CPIが+36%超、1カ月物預金金利が20%(注2)を越える。トルコ中銀統計によると、11月26日の時点でそれぞれ870/245億ドルだった同国の総/純外準は、12月31日に726/81億ドルまで減少していた。うち73億ドルは、同銀が12月中に実施した為替介入で、34億ドルは国営ガス会社(Botas)への外貨供給で説明がつく。トルコの外準には不透明な点が多いが、もしかしたら外準に絡んでもう一点、30日の時点で700億リラの年初来損失を計上していたトルコ中銀は、31日に600億リラの年間利益を計上し、利益の7割方は、2月に配当として国庫に移管されるといふ。輸出主導の経常赤字定着を目指すエルドアン大統領の戦略とは裏腹に、11日発表のトルコ11月経常収支は3ヵ月ぶりの赤字が予想されている。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
1/11	7:00	経常収支(USD)	11月		-2.50bn	+3.16bn
1/13	7:00	鉱工業生産(前年比)	11月		+8.0%	+8.5%
	7:00	小売売上高(前年比)	11月			+15.2%
1/14	7:00	期待インフレ率(12ヵ月)	1月			+21.39%
1/17	8:00	財政収支(TRY)	12月			+32.0bn

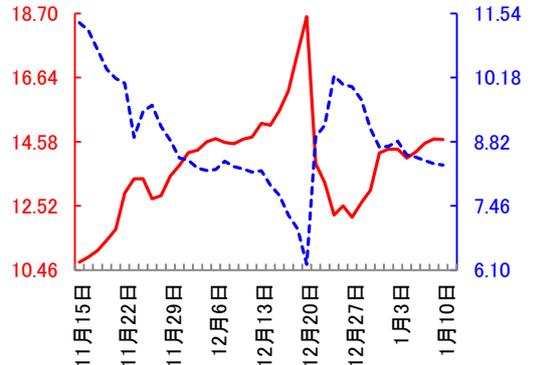
(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/TRYの推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)



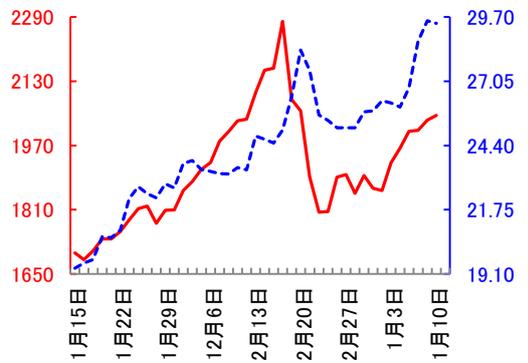
バスケット/リラの推移 (トルコ中銀公示)

リラ/円の推移 (ロンドン 17:00)



株式市場の推移 (ISE 100種指数)

長期金利の推移 (5年スワップ金利)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レポ金利		14.00%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+7.4%
失業率	11月	11.2%
消費者物価(前年比)	12月	+36.08%
鉱工業生産(前年比)	10月	+8.5%
小売売上高(前年比)	10月	+15.2%
貿易収支(USD)	11月	-5.40bn
経常収支(USD)	10月	+3.16bn

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

(注1) 元トルコ中銀副総裁、著名エコノミストなど含む

(注2) 複利計算すると年率22%弱

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。